

複合型システム工学教育プログラム  
2008 年度版 学習・教育目標  
周知度アンケート調査結果

平成20年5月

函館工業高等専門学校

点検評価委員会

## 1. 周知度アンケート調査と調査結果の概要

平成 20 年度より複合型システム工学教育プログラムの学習・教育目標を一部修正したことにとともに、学生への周知度を調べるためにアンケート調査を実施した。アンケート調査の実施期間は、平成 20 年 5 月 12 日から 20 日である。

アンケート調査での設問は、次の 6 項目となっている。

- 設問 1. 本校の「複合型システム工学」教育プログラムの学習・教育目標が、4 月より裏面に示す学習・教育目標に変更となりました。変更になったことを知っていますか？
- 設問 2. 質問 1 で、(1)と答えた方にお伺いします。この学習・教育目標の変更をどこで知りましたか？
- 設問 3. 教員から学習・教育目標の内容に関する説明はありましたか？
- 設問 4. この学習・教育目標をどこで見ましたか？（複数回答でかまいません）
- 設問 5. 学生の皆さんへの学習・教育目標の周知方法について、意見や要望があれば枠内に記入して下さい。
- 設問 6. 学習・教育目標の内容について、意見や要望があれば枠内に記入して下さい。

設問 1 と 2 では学習教育目標変更の周知度と周知の手段を、設問 3 では教員から学習・教育目標の内容説明を受けたかどうかを調べている。また、周知効果の大きな手段(周知方法)を調べるために設問 4 を設け、設問 5 と 6 では学習教育目標の内容と周知方法に対する学生の意見と要望を調べている。

アンケート調査の集計結果の一部を表 1 に示す。プログラムの全履修生 434 人(休学者は除く)に対して、回収率は 97.7%となっている。調査の結果、学習教育目標変更の周知度(設問 1)は全体で 72.2%となっているが、学習教育目標の説明があったと答えた学生(設問 3)は全体で 90.8%となっている。したがって、全体の約 2 割の学生が学習教育目標の説明を受けたが変更になったことを認識していないという結果になっている。なお、アンケート結果の分析は次項に示している。

表 1 教科数と教科担当者数

	回収率			設問1 学習教育目標 変更の周知度				設問3 学習教育目標 説明の実施			
	クラス 人数	回収 数	回収率	(1) 知っている	(2) 知らない	(1) あった	(2) 無かった				
4M	43	41	95.3%	32 78.0%	9 22.0%	38 92.7%	3 7.3%				
4E	36	36	100.0%	11 30.6%	25 69.4%	28 77.8%	8 22.2%				
4J	42	41	97.6%	18 43.9%	23 56.1%	36 87.8%	5 12.2%				
4C	42	41	97.6%	33 80.5%	8 19.5%	40 97.6%	1 2.4%				
4Z	41	41	100.0%	32 78.0%	9 22.0%	39 95.1%	2 4.9%				
1年次(本4)小計	204	200	98.0%	126 63.0%	74 37.0%	181 90.5%	19 9.5%				
5M	33	33	100.0%	24 72.7%	9 27.3%	29 87.9%	4 12.1%				
5E	35	34	97.1%	28 82.4%	6 17.6%	33 97.1%	1 2.9%				
5J	30	30	100.0%	18 60.0%	12 40.0%	21 70.0%	9 30.0%				
5C	45	45	100.0%	40 88.9%	5 11.1%	42 93.3%	3 6.7%				
5Z	31	30	96.8%	24 80.0%	6 20.0%	28 93.3%	2 6.7%				
2年次(本5)小計	174	172	98.9%	134 77.9%	38 22.1%	153 89.0%	19 11.0%				
1S	20	20	100.0%	18 90.0%	2 10.0%	19 95.0%	1 5.0%				
1K	10	10	100.0%	9 90.0%	1 10.0%	10 100.0%	0 0.0%				
3年次(専1)小計	30	30	100.0%	27 90.0%	3 10.0%	29 96.7%	1 3.3%				
2S	18	14	77.8%	12 85.7%	2 14.3%	14 100.0%	0 0.0%				
2K	8	8	100.0%	7 87.5%	1 12.5%	8 100.0%	0 0.0%				
4年次(専2)小計	26	22	84.6%	19 86.4%	3 13.6%	22 100.0%	0 0.0%				
合計	434	424	97.7%	306 72.2%	118 27.8%	385 90.8%	39 9.2%				

## 2. アンケート結果の分析

- 設問1 本校の「複合型システム工学」教育プログラムの学習・教育目標が、4月より裏面に示す学習・教育目標に変更となりました。変更になったことを知っていますか？

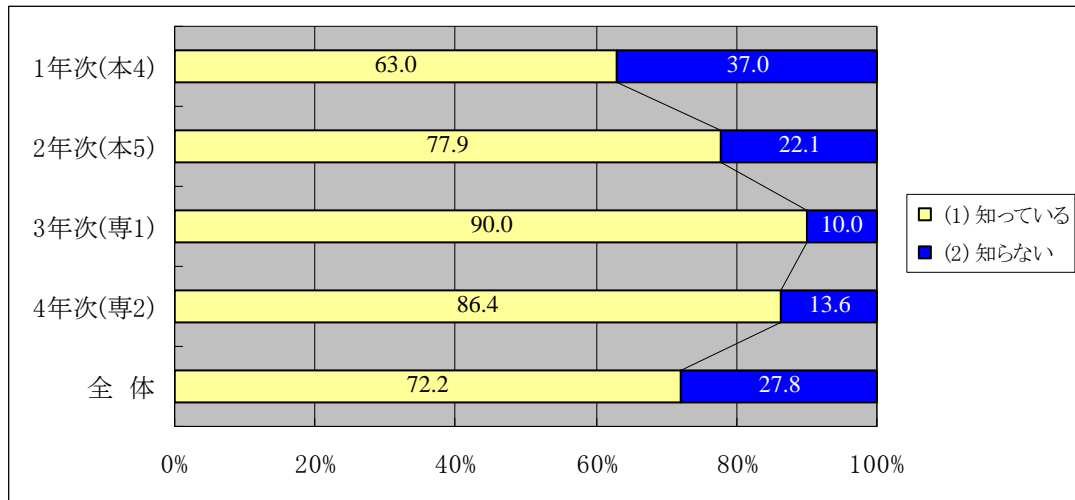


図1 設問1の集計結果

学年が進行にするにつれて、学習教育目標変更の周知度が高くなる傾向にある。プログラム1年次(本科4年生)では周知度が63%と低いが、90.5%の学生が学習教育目標の内容説明があったと答えている(設問3)。プログラム1年次学生にとっては本プログラムの学習教育目標の説明を受けるのは初めてのことであるから、変更となったことの認識が少ないと判断できる。

- 設問2 設問1で、(1)知っていると答えた方にお伺いします。この学習・教育目標の変更をどこで知りましたか？

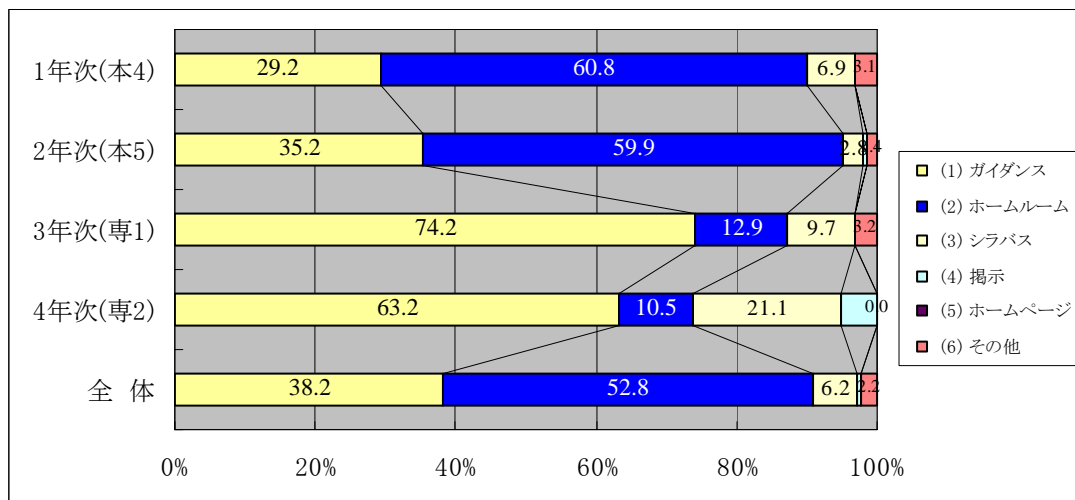


図2 設問2の集計結果

プログラム1,2年次(本科4,5年生)ではガイダンスまたはホームルームで変更を知ったと答えた学生が9割を越えている。3,4年次(専攻科1,2年生)でもガイダンスまたはホームルームの割合が高いが、1,2年次に比べてシラバスと答えている学生が多くなっており、4年次(専攻科2年生)では2割を越えている。なお、その他(全体2.2%)は「授業中に先生から聞いた」と答えている。

■設問3 教員から学習・教育目標の内容に関する説明はありましたか？

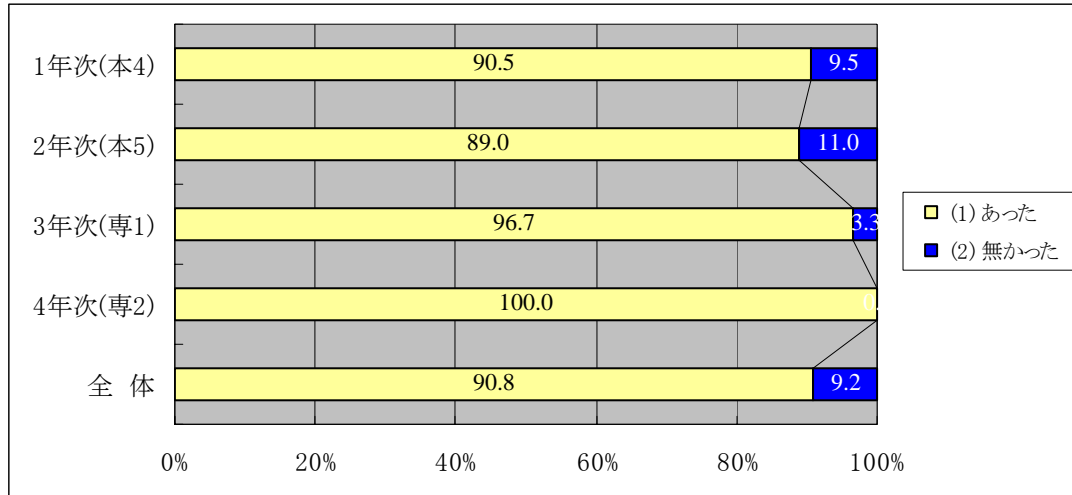


図3 設問3の集計結果

教員から学習・教育目標の内容に関する説明があったと答えた学生は全体で 90.8%となっている。プログラム 1,2 年次(本科 4,5 年生)に比べ、3,4 年次(専攻科 1,2 年生)の「説明があった」と答えた割合が高くなっている。

■設問4 この学習・教育目標をどこで見ましたか？(複数回答でかまいません)

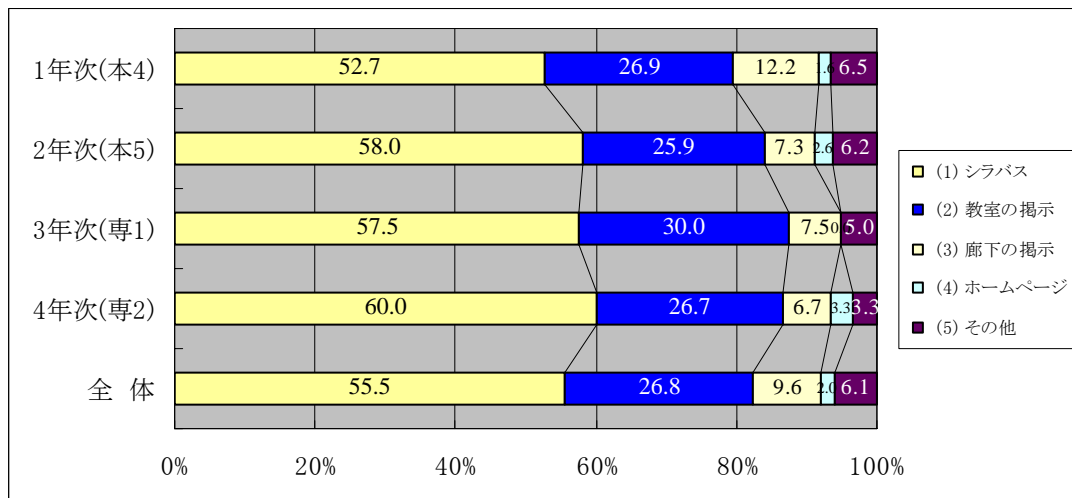


図4 設問4の集計結果

学生が学習教育目標を目にするのが多いのはシラバス(全体で 55.5%)であり、学生が普段シラバスを良く見ていると推察できる。次いで、教室の掲示が 26.8%、廊下の掲示が 9.6%となっており、教室や廊下に掲示している学習教育目標の周知効果も大きいことが分かる。一方、ホームページで見たと答えた学生は全体で 2%(10 人)にすぎず、ホームページに掲載されている学習教育目標はあまり学生に見られていないと判断できる。なお、その他は全体で 6.1%(31 人)であるが、その内訳は「本アンケート用紙で見た」が 13 人、「説明時に配付されたプリントで見た」が 13 人、「見たことがない」が 3 人、その他が 2 人となっている。